立憲民主党 The Constitutional Democratic Party of Japan　衆議院議員（兵庫県第６区／伊丹・宝塚・川西）

討議資料

月刊 桜井シュウ

さくらい しゅう

三ツ星議員★★★

水害対策特集号

号外

ゲリラ豪雨・巨大台風が多発! 金岡川は大丈夫?

近年、日本各地でこれまで経験したことがない強烈な豪雨が降るようになりました。全国各地で、大規模河川の堤防決壊による洪水のみならず、中小河川や用水路・下水管で水があふれ出ることによる内水氾濫による洪水被害が発生しています。

伊丹市内においても、2013年8月25日と2014年9月10日～11日の豪雨では、金岡川（および支流の昆陽川）で越水が発生しました。さらに遡れば、1994年9月6日～7日の豪雨でも金岡川が氾濫し、流域では洪水被害が発生しました。このときは桜井シュウ（当時は大学生）の自宅も浸水被害を受けました。

ゲリラ豪雨や巨大台風が発生する原因として、地球温暖化が考えられています。すなわち、地球温暖化で日本近海での海水温度が上昇し、水蒸気が大量に生成され、その水蒸気が雨雲になって日本各地で大雨をもたらしていると考えられます。したがって、今後もゲリラ豪雨や巨大台風などによる水害が懸念されます。

金岡川と昆陽川の合流地点（鈴原町５丁目付近）

根本的な対策としては、地球温暖化と気候危機の解消です。そのためには地球温暖化ガス（二酸化炭素、メタンガスなど）の排出量を大幅に削減する必要があります。また、対処療法的な対策としては、金岡川の洪水対策です。

桜井シュウは、伊丹市議会議員（2011年～2017年）として、また衆議院議員（2017年～）として、グローバルな視点で地球環境問題に取り組みつつ、ローカルな視点で地元密着の取組みを進めています。

地元密着で金岡川の洪水対策を推進!

■金岡雨水貯留管で溜める

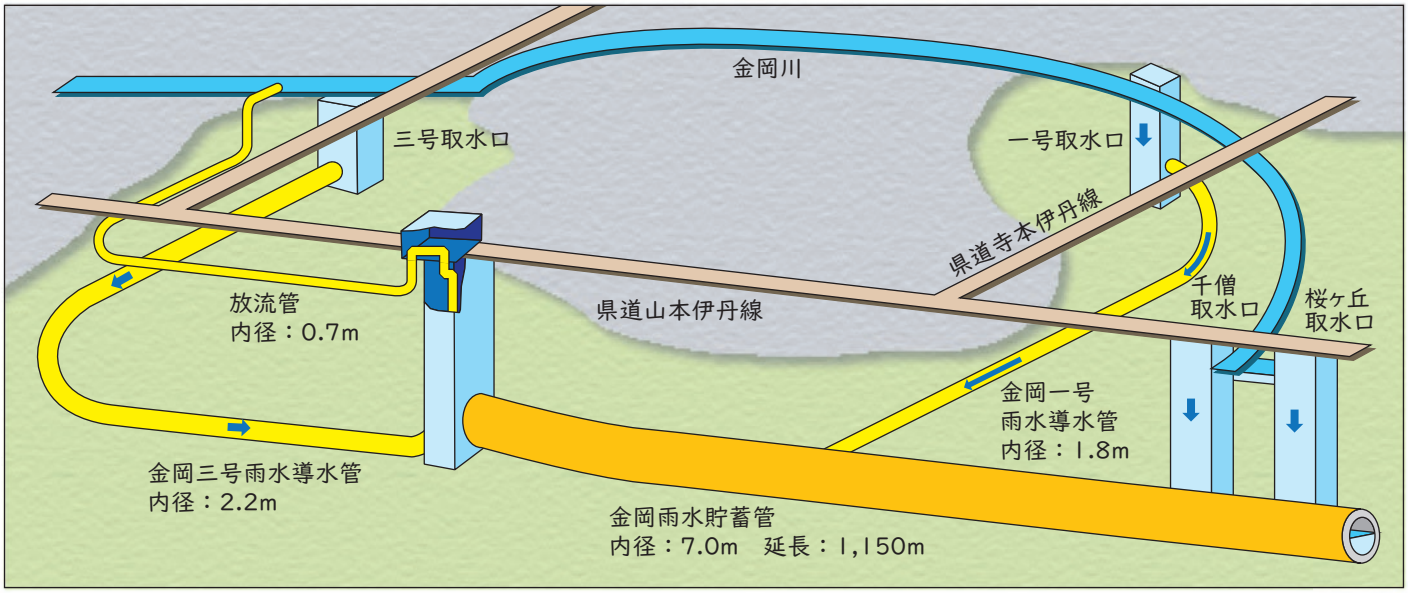
伊丹市では、1994年8月の金岡川の氾濫による浸水被害などを踏まえて水害対策を進めています。県道五合橋線の地下に金岡雨水貯留管（直径7m、全長1,150m、貯留容量4万t、2001年3月完成、建設費93億円）を建設しました。行基町1丁目、昆陽東1丁目および御願塚6丁目付近に取水口を設けて、金岡川の増水時には金岡川の水を雨水貯留管に導き入れ、金岡川の水量を抑制します。そして、雨水貯留管にたまった水は、雨が止み金岡川の水位が下がってから、排水します。

金岡雨水貯留管により万全であったはずの伊丹市の水害対策ですが、2013年と2014年のゲリラ豪雨では市内南部で浸水被害が発生しました。近年に多発する豪雨災害をみれば、さらなる水害対策が必要です。ですが、金岡雨水貯留管の建設には93億円かかっていますので、財政負担を考えれば「雨水貯留管もう一つ！」というワケにはいきません。

金岡川の取水口（行基町1丁目付近）

金岡川の取水口（昆陽東1丁目付近）

金岡川の取水口（御願塚6丁目付近）



■御願塚8丁目付近での越水対策

南下する金岡川は山陽新幹線高架下を通って御願塚８丁目付近で南西方向にカーブしています。2013年と2014年の豪雨のときには、そのカーブで流水が勢い余って曲がり切れずに越水しました。

この対策として、桜井シュウは伊丹市議会議員のときに、ブロック塀による嵩上げを提案し、実現しました。たった20cmの嵩上げですが、2013年と2014年のレベルの増水ならば越水を防げます。

金岡川の越水対策①（御願塚８丁目付近）

金岡川の越水対策②（御願塚８丁目付近）

■金岡川の河川改修

さらなる対策として、桜井シュウは、金岡川の河川改修（河道掘り下げ）を提案しています。伊丹市と尼崎市の市境で約50cmの段差があり、この分の掘り下げは可能です。また、金岡川の下流の庄下川の河川改修は2024年に完了予定であり、金岡川の改修工事に取り掛かれます（洪水対策は下流側から着手するのが原則）。

伊丹・尼崎の市境での金岡川の段差

■北中・伊丹小などでの校庭貯留

ゲリラ豪雨は、短時間であっても大量の雨が一度に降ることが問題です。ですから、雨水を一旦溜めておけば洪水リスクを低下させられます。一方で、雨水貯留管の建設には多額の建設費がかかります。

そこで、安価に雨水を貯留する方法として校庭貯留を提案しています。校庭貯留とは、校庭に降った雨水をすぐに流出するのではなく、一旦、校庭に雨水を溜めておき、雨が小降りになったころに排水するという方法です。工事としては、校庭をブロック塀（30cm程度）で囲みつつ、速やかに排水できるようにグラウンドを改修します。これにより、河川の雨水流量のピークをカットできますし、雨が上がった後はこれまで通りグラウンドを利用できます。校庭に降った雨水を溜めるぐらいで役に立つのかと思われるかもしれませんが、河川への流入量を２～３％削減するだけで、水害リスクを低減できます。この校庭貯留は、兵庫県の武庫川の洪水対策として県立阪神昆陽高などで採用されています。

桜井シュウは、金岡川流域にある北中・伊丹小・市立伊丹高・鈴原小などで校庭貯留を導入するよう提案しています。

■ご家庭での雨水貯留タンクも!

校庭貯留と同じ理由で、ご自宅の屋根に降った雨水を溜める雨水貯留タンクを設置いただくと洪水対策になります。また、溜めた雨水を庭の植木の水やりにつかえば水道代を節約できます。地震などで水道が断水したときに、トイレの流し水に利用できます。伊丹市では雨水貯留タンク設

再生可能エネルギーで環境立国へ!

近年、ゲリラ豪雨や巨大台風が多発しています。地球温暖化で日本近海での海水温度が上昇し、水蒸気が大量に生成され、その水蒸気が雨雲になって日本各地で大雨をもたらしていると考えられます。したがって、根本的な対策としては、二酸化炭素などの地球温暖化ガスの排出量を減らす必要があります。

地球温暖化対策は、日本だけの問題ではなく、地球全体の問題です。したがって、世界中の国々が協調して取り組むべきことです。しかし、アメリカ・トランプ大統領のように地球温暖化の事実を認めないリーダーが取り組みを妨げています。「アメリカがやらないから日本もやらない」では、状況はどんどん悪化してしまいます。日本として、できることから取り組みを進めるべきです。

桜井シュウは、太陽光発電と蓄電池の組み合わせなど再生可能エネルギーを普及させる政策を推進しています。最近の技術革新は目覚ましく、戸建て住宅では自宅での太陽光発電と蓄電池で十分賄えるレベルに進歩しています。

また、さらに農業と太陽光発電を同時におこなうソーラー・シェアリングを進めています。農業には日光は必要ですが、強すぎる日差しは作物に悪影響を与えることがあり、適度な日陰を作った方が実は収穫は増えることがあります。農家は農作物に加えて電気を売ることができれば収入を増やせます。

我が国は、2000年頃には太陽光発電技術で世界のトップでした。その後、再生可能エネルギー開発に熱心に取り組むドイツ・アメリカ・中国の後塵を拝するようになりました。技術立国ニッポンは環境技術でこそ世界に貢献できます。

桜井シュウ（さくらい　しゅう）プロフィール

【学歴】美鈴月影幼稚園、鈴原小、南中、県立伊丹高、京都大、京都大院修士、ブラウン大院修士
【職歴】国際協力銀行調査役、弁理士、伊丹市議会議員（2期）
【資格】弁理士、国会議員政策担当秘書試験合格
【家族】妻、子ども2人、犬（トイプードル♀）

三ツ星議員★★★とは

議員立法の提案、本会議・委員会での審議、質問主意書などの国会活動を評価され、三ツ星議員として政策評価NPOに表彰されました!

発行者：**桜井 シュウ**
〒664-0858 伊丹市西台2-5-11
松屋ビル2F
TEL▶072-768-9260
FAX▶072-768-9261
e-mail▶sakuraishu.office@gmail.com
URL▶http://www.sakuraishu.net/

桜井シュウの政治活動へのご協力のお願い

●ポスティング

伊丹市・宝塚市・川西市の各ご家庭に配布しております。ご近所周辺など可能な範囲・枚数だけで結構ですので、ご協力をお願い致します。

●ポスター掲示

ご自宅の塀・外壁、駐車場のフェンスなどに桜井シュウのポスターを貼って下さい。またご近所に人通りが多く、ポスターを掲示していただけそうな場所がありましたらご紹介下さい。

●カンパ

一人でも多くの方に国政報告をお届けするために、カンパをお願い致します。お振込みいただく場合は、恐れ入りますが手数料のご負担をお願い致します。
（※個人献金ができるのは日本国籍を持つ方に限られます。）

■お振込先：
三井住友銀行　伊丹支店 普通4719556「櫻井周後援会」
ゆうちょ銀行　00970-8-332979「周山会」

ご意見・ご相談、お気軽にご連絡下さい!

※直接書き込んでファックスでお送りください。

お名前▶　　お電話番号▶

ご意見▶